



ミサトマチ
美里町
433489

〒861-4492
美里町馬場1100

TEL 0964-46-2111
FAX 0964-46-3510
URL <https://www.town.kumamoto-misato.lg.jp/>
地域指定等 過疎 農振 農産 国定公園 (一部) 拠点 特定農山村 (一部)

【組織】

1. 市町村長等 (R3. 6. 1現在)

長	上田 泰弘 ウエダ ヤスヒロ	
	生年月日 S 50. 5. 21	
	任期 R 6. 12. 4	
	通算期数 3期	
	連続当選回数 3回	
副町長	吉住 慎二	

※通算期数には、合併前の市町村における期数は含まない。

2. 議会 (R3. 6. 1現在)

議長	吉田 美好	副議長	濱田 憲治
定数	12 人		
任期	R 4. 4. 30		

3. 職員数等 (R2. 4. 1現在)

職員数の状況				
一般行政	教育・消防	公営企業	合計	人口千人当たり
104 人	22 人	11 人	137 人	13.8 人
職員給料等の状況(一般行政職)				
平均給料月額	ラス ^o イ ^s 指数	平均年齢		
2,756 百円	94.7	38.2 歳		

【概要】

1. 世帯数・人口等

区 分	世帯数	人口 (人)		計	人口構成比 (%)		
		男	女		15歳未満	15~64歳	65歳以上
H17. 10. 1	3,900	5,722	6,532	12,254	10.5	53.6	35.9
H22. 10. 1	3,791	5,278	6,110	11,388	9.6	52.2	38.3
H27. 10. 1	3,611	4,792	5,541	10,333	9.3	49.0	41.7
R2. 10. 1	3,542	4,258	4,906	9,164	8.4	44.6	47.0
H27. 10. 1	人口密度	72 人/km ²		行政区数	63 区		

2. 選挙人名簿登録者数 (R2. 12. 1現在)

男	女	計
4,055 人	4,594 人	8,649 人

3. 面積 (km²)

総面積	農用地	森林	宅地
144.00	12.10	104.39	3.30

4. 沿革

平 16. 11. 1	新設	中央町・砥用町 町制施行
-------------	----	-----------------

【産業構造】

(百万円・人)

区 分	総生産額 (H30年度)		就業人口 (H27. 10. 1)	
第1次	1,185	5.8 %	665	13.8 %
第2次	5,290	25.9 %	1,350	28.0 %
第3次	13,962	68.3 %	2,801	58.2 %
関税等	374	-	-	-
(控除)消費税	225	-	-	-
分類不能分	-	-	4	-
合 計	20,586	-	4,820	-

※総生産額は、表示単位未満を四捨五入しており、表内において一致しない場合がある。

※就業人口について

・構成比は分母から分類不能分を除いて算出。

・合計は分類不能分も含む15歳以上の就業者数。

【公営企業】

簡易水道 下水道 (生活)

【広域連合・一部事務組合処理事務】

消防 救急 ごみ処理 し尿処理 火葬場 介護認定審査 障がい者の介護給付費等の支給審査 広域計画 後期高齢者医療 退職手当

【事務の委託】

公平委員会

【基本構想・基本計画期間】

基本構想	平成28年度～令和7年度
基本計画	令和3年度～令和7年度

【令和2年度主要施策】

<ul style="list-style-type: none"> 子育て・介護・健康支援事業 産業振興事業 地方創生推進事業 産学官連携事業 空き家対策事業 移住・定住促進事業 災害復旧復興事業
--

【今後の主要課題】

<ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくり 健康・福祉のまちづくり 教育・文化のまちづくり 産業・観光のまちづくり 住みよく快適なまちづくり

【財政】

※表示単位未満を四捨五入しており、表内において一致しない場合がある。

1. 決算収支（普通会計）

(百万円)

区 分	歳 入	歳 出	形式収支	実質収支	単年度収支	実質 単年度収支
H29年度決算	10,221	9,430	792	423	283	138
H30年度決算	9,686	9,050	636	399	-24	-159
R1年度決算	9,104	8,655	449	190	-209	-266

2. 主な歳入歳出（普通会計）

(百万円・%)

区 分	H30年度決算	増減率	R1年度決算	増減率	構成比	R2年度予算	構成比
歳 入	地 方 税	860	0.6	874	1.7	9.6	12.1
	地 方 交 付 税	3,160	0.0	3,167	0.2	34.8	41.7
	国 県 支 出 金	2,651	-16.5	2,190	-17.4	24.1	20.1
	地 方 債	1,222	-22.6	1,292	5.8	14.2	12.2
	そ の 他	1,794	23.5	1,580	-11.9	17.4	13.9
	歳 入 合 計	9,686	-5.2	9,104	-6.0	100.0	100.0
歳 出	義 務 的 経 費						
	人 件 費	991	-1.7	1,033	4.2	11.9	15.9
	扶 助 費	913	-6.6	901	-1.3	10.4	13.3
	公 債 費	930	16.1	986	6.1	11.4	13.7
	小 計	2,834	1.7	2,921	3.1	33.7	42.9
	物 件 費	869	-46.7	853	-1.9	9.9	12.4
	補 助 費 等	915	-6.6	800	-12.6	9.2	12.2
	繰 出 金	935	-2.0	947	1.2	10.9	13.3
	投 資 的 経 費	2,711	8.5	2,566	-5.3	29.7	16.8
	うち普通建設事業費	1,534	33.0	1,742	13.6	20.1	15.5
	うち補助	1,088	68.1	860	-20.9	9.9	8.6
	うち単独	363	-26.8	1,637	350.6	18.9	6.8
	そ の 他	786	35.2	569	-27.6	6.6	2.4
	歳 出 合 計	9,050	-4.0	8,655	-4.4	100.0	100.0

3. 主な財政指標（R1年度）

区 分	指 数 等	区 分	指 数 等		
標 準 財 政 規 模	4,208 百万円	実 質 収 支 比 率	4.5 %		
財 政 力 指 数	0.24	公 債 費 負 担 比 率	17.3 %		
健 全 化 判 断 比 率	実 質 赤 字 比 率	— %	地 方 債 現 在 高	8,181 百万円	
	連 結 実 質 赤 字 比 率	— %	積 立 金 現 在 高	財 政 調 整 基 金	1,799 百万円
	実 質 公 債 費 比 率	5.9 %		減 債 基 金	498 百万円
	将 来 負 担 比 率	— %		特 定 目 的 基 金	1,210 百万円
経 常 収 支 比 率	94.4 %	計	3,507 百万円		
うち人件費	23.1 %	土 地 開 発 基 金 現 在 高	16 百万円		
うち公債費	22.9 %				

4. 税収の状況（R1年度）

(百万円・%)

区 分	決 算 額	構 成 比
市 町 村 民 税	個 人	278 31.8
	法 人	38 4.4
	小 計	316 36.2
固 定 資 産 税	454 51.9	
そ の 他	104 11.9	
合 計	874 100.0	

5. 税の徴収率

(%)

区 分	H29年度	H30年度	R1年度	
市 町 村 税 〔国保税(料)は除く〕	現 年	99.7	99.6	99.3
	滞 納	32.3	28.4	29.1
	合 計	97.9	98.4	98.3
国 民 健 康 保 険 税 (料)	現 年	98.8	97.8	97.7
	滞 納	35.4	29.8	36.5
	合 計	92.9	93.6	94.3

【公共施設整備状況】

(R2年度)

(%)

区 分	指 数	区 分	指 数	
道 路	改 良 率	61.0	し 尿 収 集 率	100.0
	舗 装 率	95.5	上 水 道 等 普 及 率	47.9
橋 梁	永 久 橋 比 率	99.5	公 共 下 水 道 普 及 率 (人 口)	—
ご み	収 集 率	100.0	公 営 住 宅 世 帯 数 比 率	5.7

【施設数】

(R2年度)

幼 稚 園	認 定 こ ど も 園	保 育 所
	1 (1)	4 (4)
小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
3 (0)	2 (0)	
老 人 福 祉 施 設	※ () は 市 町 村 立、組 合 立 以 外 の 数	
7 (6)		

【主な公的料金等の状況】

(円・%)

(円)

	国 民 健 康 保 険 税 ・ 料			
	所 得 割	資 産 割	均 等 割	平 等 割
医 療 分	9.38	—	31,000	21,000
介 護 分	1.43	—	9,500	—
後 期 高 齢 者 分	2.13	—	7,300	5,000

介 護 保 険 料	保 育 料	上 水 道 料 金	簡 易 水 道 料 金	公 共 下 水 道 使 用 料	農 業 集 落 排 水 使 用 料
7,500	33,000	—	1,980	—	—

(キヤッチフレーズ) 小さくてもキラリと光る私たちのまち —やさしい対話のまちづくり—